

演劇・映画の専門図書館
公益
財団法人

SHOCHIKU OTANI LIBRARY

松竹大谷図書館ニューズレター

■ No. 242(2018年5月) ■

平成30年5月10日発行

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 4月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

| 劇場 | 演目 | 台本 | スチール | プログラム | ポスター |
|----------|--------------------------|----|------|-------|------|
| 歌舞伎座 | 『西郷と勝』 | ○ | | | |
| | 『通し狂言 梅照葉錦伊達織 裏表先代萩』 | ○ | | ○ | ○ |
| | 『通し狂言 絵本合法衛 立場の太平次』 | ○ | | | |
| 新橋演舞場 | 『滝沢歌舞伎2018』 | | | ○ | ○ |
| 幕張メッセ | ニコニコ超会議『超歌舞伎 積思花顔競』 | ○ | | ○ | ○ |
| 松竹座 (大阪) | 『ワンピース』 | ○ | | ○ | ○ |
| 御園座 | 『寿曾我対面』 | ○ | | | |
| | 『二代目松本白鸚・十代目松本幸四郎襲名披露口上』 | | | | |
| | 『籠釣瓶花街酔醒』 | ○ | | ○ | |
| | 『梶原平三誉石切』 | ○ | | | |
| | 『勧進帳』 | ○ | | | |
| 金丸座 | 『廓文章 吉田屋』 | ○ | | | |
| | 『江島生島』 | ○ | | | |
| | 『其佛対編笠 鞘當』 | ○ | | | |
| | 『新血屋舗月雨暈 魚屋宗五郎』 | ○ | | ○ | ○ |
| | 『義経千本桜 鳥居前』 | ○ | | | |
| | 『鎌倉三代記 絹川村閑居』 | ○ | | | |
| 地方巡業 | 『石橋』 | | | | |
| | 中村勘九郎・中村七之助春暁特別公演 2018 | | | ○ | |

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

| | | |
|-------------|----|------------------------------|
| 大阪新歌舞伎座 | 3月 | 『川中美幸特別公演』プログラム |
| 紀伊國屋サザンシアター | 3月 | 青年劇場『きみはいくさに征ったけれど』プログラム、台本 |
| 紀伊國屋ホール | 3月 | 人形劇団ブーク『エルマーのぼうけん』プログラム |
| 劇場MOMO | 3月 | 劇団め組『小栗上野介忠順』プログラム |
| こまばアゴラ劇場 | 4月 | 猫のホテル『秘境温泉名優ストリップ』プログラム |
| 座・高円寺1 | 3月 | TRASHMASTERS『埋没』プログラム |
| ザ・スズナリ | 3月 | オフィス・ミヤモト『ブラインド・タッチ』プログラム |
| サンシャイン劇場 | 3月 | 喜多村緑郎・河合雪之丞自主公演『怪人二十面相』プログラム |
| サンモールスタジオ | 4月 | 松本紀保プロデュース『Farewell』プログラム |
| シアタークリエ | 3月 | 『GEM CLUB II』プログラム |
| シアターコクーン | 3月 | 『そして僕は途方に暮れる』プログラム |
| シアタートラム | 4月 | 城山羊の会『自己紹介読本』プログラム |
| シアター風姿花伝 | 4月 | パラボックス定数『731』プログラム |
| 下北沢駅前劇場 | 3月 | JACROW『焔 ほむら』プログラム |
| 新宿眼科画廊スペースO | 4月 | 小田尚稔の演劇『凡人の言い訳』プログラム |

(新着資料案内 他社演劇公演資料 続き)

| | | |
|----------------|----|---------------------------------------|
| 新宿眼科画廊地下 | 4月 | 一十口企画『ストラタ』プログラム |
| スペース・ゼロ | 3月 | 人形劇団ブーク『うかうか三十、ちよろちよろ四十』『約束…』プログラム |
| 地方巡業 | 3月 | 市川海老蔵特別公演『源氏物語 第二章 朧月夜より須磨・明石まで』プログラム |
| 東京芸術劇場シアターイースト | 4月 | モダンスイマーズ『嗚呼いま、だから愛。』プログラム |
| 中野テアトルBONBON | 4月 | 西瓜糖『レバア』プログラム |
| 日生劇場 | 3月 | 『ラ・カージュ・オ・フォール』プログラム |
| 俳優座劇場 | 3月 | 『バグバスターズ Stage BLUE』プログラム |
| 博多座 | 4月 | 『石川さゆり特別公演』プログラム、ポスター |
| BUoY (ブイ) | 4月 | 劇団短距離男道ミサイル『母さん、たぶん俺ら、人間失格だわ』プログラム |

■ 演劇雑誌 ■

| | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 『Confetti』2018年MAY | 『喝采』2018年8月 |
| 『Confettiかわら本』2018年5月号 | 『歌舞伎 研究と批評』2018年(60) |
| 『JPL』No.69 | 『御園座演劇図書館Newsletter』Vol.1 |
| 『TICKETS GO!GO!』Vol.78 | 『国立演芸場公演ガイド』平成30年5月号 |
| 『omoshii mag オモシイ・マガ』Vol.12 | 『伝統文化新聞』143号 |
| 『the座』95号 | 『日本芸術文化振興会ニュース』平成30年5月号 |
| 『あぜくら』2018年4月号 | 『日本劇作家協会会報 ト書き』2018年60号 |
| 『ほうおう』2018年6月号 | 『日本照明家協会誌』2018年4月号 |
| 『シアターガイド』2018年6月号 | 『日本舞踊』70巻5月号 |
| 『テアトロ』2018年5月号 | 『悲劇喜劇』2018年5月号 |
| 『ラ・アルプ』2018年5月号 | 『舞台芸術』Vol.21 |
| 『演劇映像』59号 | 『邦楽の友』平成30年5月号 |
| 『演劇界』2018年6月号 | |

■ 映画雑誌 ■

| | |
|---------------------------------------|------------------------|
| 『FLIX』2018年6月号 | 『シナリオ』2018年6月号 |
| 『NFAJニューズレター』2018年4月-6月号 | 『ドラマ』2018年5月号 |
| 『NFAJプログラム』No.1, No.2 | 『ピクトアップ』2018年4月号 |
| 『SCREEN』2018年6月号 | 『映画テレビ技術』2018年5月号 |
| 『TVガイド』2018年4/6号, 4/13号, 4/20号, 4/27号 | 『映画学』2017年31号 |
| 『おとなのデジタルTVナビ』2018年6月号 | 『映画秘宝』2018年6月号 |
| 『アンドレ・バザン研究』2号 | 『衛星劇場プログラムガイド』2018年5月号 |
| 『キネマ旬報』2018年5月上旬特別号, 5月下旬号, | 『日経エンタテインメント!』2018年5月号 |
| 増刊キネマ旬報 NEXT Vol.19 | 『日本アカデミー賞協会会報』83号 |

■ 映画プログラム ■

| | | |
|--------------------------------|----------------|----------------------|
| 『さよなら、僕のマンハッタン』 | 『レディ・プレイヤー1』 | 『ママレード・ボーイ』 |
| 『いぬやしき』 | 『アンロック 陰謀のコード』 | 『名探偵コナン ゼロの執行人』 |
| 『映画クレヨンしんちゃん 爆盛!カンフーボーイズ 拉麺大乱』 | | 『パシフィック・リム:アップライジング』 |
| 『BUDDHA 2 手塚治虫のブッダ 終わりなき旅』 | | 『夏の終り』 |
| 『ディア・ドクター』 | 『ほとりの朔子』 | 『あゝ、荒野』 |
| 『歩いてても 歩いてても』 | 『大阪物語』 | 『さよなら溪谷』 |
| 『箱入り息子の恋』 | 『飛べ!ダコタ』 | 『中学生円山』 |
| 『共喰い』 | 『おしん』 | 『重力ピエロ』 |
| 『ペコロスの母に会いに行く』 | 『少年メリケンサック』 | 『モンスター』 |
| 『もらとりあむタマ子』 | 『シャニダールの花』 | 『四十九日のレシピ』 |
| 『赤々煉恋』 | 『くちづけ』 | |

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書 籍 ■

| | |
|---|--------------------------------------|
| 『100%寅さん! 監督・スタッフ・共演者・熱烈ファンが語る寅さんの魅力』 | 宝島社 |
| 『鎌倉映画地図』 | 鎌倉市川喜多映画記念館 |
| 『水木洋子市民サポーター活動の記録12』 | 水木洋子市民サポーターの会 |
| 『年鑑代表シナリオ集'16』 | 日本シナリオ作家協会 |
| 『KAKUTA 20th Anniversaery』 | KAKUTA |
| 『CROME MOLYBDAN Official Photograph collection』 | CROME MOLYBDAN |
| 『文学座史 2007-2016』 | 文学座 |
| 『蜷川幸雄 世界で闘い続けた演出家』 | 河出書房新社 |
| 『演劇界』2015年9月号特別付録「最新歌舞伎俳優名鑑」 | 演劇出版社 |
| 『テアトロ』2015年7月号臨時増刊号(906号)演劇名鑑2016年度版 | |
| 『テアトロ』2016年7月号臨時増刊号(920号)演劇名鑑2017年度版 | |
| 『テアトロ』2017年7月号臨時増刊号(934号)演劇名鑑2018年度版 | |
| 『戦後ミュージカルの展開』 | 日比野啓(編) 森話社 |
| 『ステージ・ショウの時代』 | 中野正昭(編) 森話社 |
| 『河東節三百年』 | 竹内道敬(著) 河東節十寸見會 |
| 『新開場 歌舞伎座』 | 松竹+歌舞伎座開場記念書籍編纂委員会(編) [松竹] |
| 『人々との出会いの軌跡 株式会社エス・シー・アライアンス50年史』 | エス・シー・アライアンス社史出版委員会(編) エス・シー・アライアンス |
| 『吉本興業百五年史』 | 吉本興業 |
| 『優秀新人戯曲集 2018』 | 日本劇作家協会(編) ブロンズ新社 |
| 『二代目松本白鸚十代目松本幸四郎八代目市川染五郎襲名披露』 | 松竹演劇部(著)、演劇営業部筋書編集室+開発企画部営業室(編) 歌舞伎座 |

資料をご寄贈くださった方々(敬称略・順不同/2018年2月~3月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、株式会社日本舞踊社、シナリオ・センター、国文学研究資料館、株式会社ホリプロ、四季株式会社、シアタークリエ、株式会社東急文化村、M&O p l a y s、キネマ旬報社、国立劇場、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、演劇出版社、関西・歌舞伎を愛する会、博多座、花組芝居、文学座、株式会社パルコ、劇団四季、若林さだ吉、一般社団法人日本民間放送連盟、劇団俳優座、有限会社合同通信社、NHK出版、デアゴスティーニ・ジャパン、日本映画テレビ技術協会、株式会社カモミール社テアトロ編集部、東宝株式会社、岩波ホール、伝統文化新聞、公益社団法人日本照明家協会、ロングランプランニング株式会社、劇団民藝、流山児★事務所、(株)C L I E、下野公久、明治学院大学、(株)近代映画社、銀座百店会、明治座、和泉書院、産経新聞出版、日本映画撮影監督協会、邦楽の友社、おもだか会、前進座、新歌舞伎座、愛知芸術文化センター、出版ワークス、松岡亮、日本映画テレビプロデューサー協会、銀座 博品館劇場、帝国劇場、フィルムセンター、古谷勝男、OSK日本歌劇団、日本劇作家協会、明治学院大学大学院、北翔大学北方圏学術情報センター、阪急文化財団、丸善出版株式会社、日本アカデミー賞協会、オペラシアターこんにゃく座、株式会社オフィスタカヤ、加藤健一事務所、国立歴史民俗博物館、公益財団法人ユニジャパン、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、俳優座劇場、劇団ワンツーワークス、映画論叢、日本ウニマ(国際人形劇連盟)、劇団銅鑼、大阪ガスビジネスクリエイト(株)OMS戯曲賞事務局、名取事務所、株式会社アタリ・パフォーマンス、日本近代文学館、博物館明治村、公益社団法人日本バレエ協会 舞踊公演アーカイヴ事業委員会、日本劇団協議会、立教大学大学院現代心理学研究科、尾上松也、一般社団法人日本演出者協会、園田学園女子大学近松研究所、立命館大学アート・リサーチセンター、公益社団法人日本演劇協会

どうもありがとうございました

第70回所蔵資料展示

大谷竹次郎五十回忌

—松竹大谷図書館開館六十周年記念— 展

展示期間：2018年4月27日～6月27日／於 閲覧室

公益財団法人松竹大谷図書館は、松竹株式会社の創業者の1人・大谷竹次郎が昭和30[1955]年に文化勲章を受章したのを記念して、昭和31[1956]年に設立した演劇と映画の専門図書館です。昭和33[1958]年7月1日に開館し、2018年に開館60周年を迎えます。また本年は、昭和44[1969]年12月27日に92歳で逝去した大谷竹次郎の50回忌にあたる年でもあります。

大谷竹次郎は、明治10[1877]年12月13日、双子の兄・白井松次郎とともに京都に生まれました。「松竹」という名は会社を創業した松次郎と竹次郎、2人の名に由来しています。松竹は、大谷竹次郎が京都新京極阪井座の仕打(興行主)となった明治28[1895]年の創業以来、日本の演劇・映画界を牽引してきました。その功により昭和30年に文化勲章を受章した際、大谷竹次郎は「この文化勲章は、私個人がもらったものではなく、演劇、映画界全般が受章したものだ」と考えたことが、松竹大谷図書館という、演劇・映画の専門図書館の実現につながりました。

当時、このような専門図書館は早稲田大学の演劇図書館のみで、利用者を限定せず、一般に広く公開する演劇・映画の専門図書館を設立するという大谷竹次郎の案は、画期的だったといえます。開館当時の資料総数は、歌舞伎を含む演劇・映画の台本を中心に約2万点、スチール写真が6万枚。他に、昭和26[1951]年1月に逝去した白井松次郎の約3千冊の蔵書も「白井文庫」として収められました。以来、松竹関係のみならず、当館の活動にご賛同いただいた各社、篤志家からのご寄贈により、蔵書数は年々増加し、開館60周年を迎える2018年現在、所蔵資料点数は約47万点にのぼっています。



松竹会館前に積み重ねられた白井松次郎の蔵書を手にする大谷竹次郎

この節目となる年を記念して、今回は松竹の創業者の1人であり、当館の設立者でもある大谷竹次郎に関する資料を展示します。

展示資料一覧

《展示ケース上段》

『**映畫の小窓**』六車修著 昭和3[1928]年文行社発行 ●図書／白井松次郎・大谷竹次郎肖像

『**大谷竹次郎氏を祝ふ會参会者名簿**』昭和30[1955]年11月29日

帝国ホテルで催された大谷竹次郎の文化勲章受章を祝う会の参加者の名簿。多くの著名人の名が見える

『**大谷竹次郎 文化勲章受章の日**』昭和30[1955]年11月3日皇居 ●スチール写真

皇居における授与式後、文化勲章を胸に庭での記念撮影に臨む大谷竹次郎のスナップ

『**勲一等瑞宝章をうけた大谷竹次郎が5代目中村兎太郎より花束をうける**』

昭和42[1967]年5月8日歌舞伎座 ●スチール写真/勲一等瑞宝章をうけた大谷竹次郎が、皇居での親授式に出席したあと、歌舞伎座の『鏡獅子』終演後の舞台でお礼の挨拶を述べる

《展示ケース下段》

『**“情報局参興”の礼装姿の大谷竹次郎**』戦前 ●スチール写真

『**松竹30周年記念式典で挨拶をする大谷竹次郎**』昭和26[1951]年5月17日 ●スチール写真

松竹30周年記念式典は歌舞伎座で盛大に行われ、式典の後には記念歌舞伎も上演された

『**社長室での大谷竹次郎**』昭和27[1952]年12月3日 ●スチール写真

『**岡田三郎助画『道成寺』と大谷竹次郎**』年月不明 ●スチール写真

株式会社歌舞伎座所蔵の絵画『道成寺』(明治41[1908]年)と。モデルは5代目中村芝翫(=5代目中村歌右衛門)

『**2代目中村鴈治郎と大谷竹次郎**』年月不明 ●スチール写真

「大谷竹次郎と4代目中村雀右衛門、その子息8代目大谷友右衛門、7代目中村芝雀」

昭和39[1964]年9月1日 ●スチール写真／昭和39[1964]年9月歌舞伎座にて「四世中村雀右衛門襲名大歌舞伎」が行われ、併せて「八代目大谷友右衛門 七世中村芝雀襲名披露」も行われた

「渡米する大谷竹次郎を見送るスターたち」昭和26[1951]年 ●スチール写真

村田知英子(村田知栄子)、淡島千景、佐野周二、幾野道子、曙ゆり、小月冴子、南條なみとともに写る。大谷竹次郎は、昭和26[1951]年5月31日より7月7日までアメリカ各地の演劇・映画界を視察。ハワイ、ロサンゼルス、ニューヨーク、ボストン、ワシントン、シカゴ、サンフランシスコなどを巡った

「ハリウッド訪問 パラマウントピクチャーズのスタジオ前にて」昭和26[1951]年 ●スチール写真

昭和26年の渡米中にハリウッドを訪問したときの写真

「映画『花の生涯』撮影中のスナップ」 ●スチール写真／昭和28[1953]年10月14日公開の映画『花の生涯』

に主演した8代目松本幸四郎(=初代松本白鸚)と淡島千景とともに写る

「映画『香華』完成祝 築地にて」昭和39[1964]年5月 ●スチール写真／昭和39[1964]年5月24日公開の

映画『香華』の完成祝。主演の1人岡田茉莉子、木下恵介監督、当時の松竹社長城戸四郎とともに写る

「MGMより銀牌を贈呈される大谷竹次郎」昭和30[1955]年10月23日 ●スチール写真

アメリカの映画会社MGM(メトロ・ゴールドウィン・メイヤー)創立30周年に際し、日本での公開に功績のあった松竹に感謝の意として銀牌が大谷竹次郎に贈呈された

「ハワイ初の歌舞伎公演へ出発する大谷竹次郎」昭和39[1964]年7月 ●スチール写真

ハワイ初の歌舞伎公演の総指揮を大谷竹次郎が執り、8月7日より16日までに20回公演された。6代目中村歌右衛門、3代目河原崎権十郎、6代目澤村田之助、6代目市村竹之丞(=5代目中村富十郎)、3代目市川猿之助(=2代目市川猿翁)、7代目市川門之助らが出演した

●図書一覧●

『立志偉人 大谷竹次郎先生少年時代』君塚勝彦著 昭和4[1929]年子ども教育読物出版協会発行

大谷竹次郎の伝記をもとに、少年少女向けに父母や兄弟への孝心の尊さが説かれている教育書

『大谷竹次郎演劇六十年』城戸四郎編・脇屋光伸著 昭和26[1951]年講談社発行

大谷竹次郎の60余年にわたる活動について、その生い立ちから歌舞伎座完成に至るまでを著した書

『松竹兄弟物語』村松梢風著 昭和30[1955]年毎日新聞社発行／村松梢風による伝記小説

『大谷竹次郎』田中純一郎著 昭和36[1961]年時事通信社発行

大谷竹次郎の伝記。巻末に「年譜」付。平成7[1995]年に新版が発行されている

『京おとこ 大谷竹次郎物語』渡邊喜恵子著 昭和38[1963]年アルプス発行

大谷家の先祖の逸話から歌舞伎座復興までを、小説風にまとめた伝記

『百人が語る巨人像 大谷竹次郎』「百人が語る巨人像・大谷竹次郎」刊行会 昭和46[1971]年発行

大谷竹次郎没後、その人物と業績を後世に伝える目的で各界100名から原稿を集めて出版したもの。『立志傳中の人 松竹兄弟』(渡辺霞亭著 大正11[1922]年国風書院発行)が収録されている



『大谷竹次郎』左は昭和36[1961]年発行、右は平成7[1995]年に発行された新版。『日本映画発達史』の著者である田中純一郎が著した。大谷竹次郎の生涯、そして松竹の歩みを知る上で必読の1冊



『百人が語る巨人像 大谷竹次郎』A4版の大型本。巻頭では24ページにわたり、多くの大谷竹次郎の写真が掲載している

≫≫ お知らせ

●今秋 2018 年 11 月 10 日～12 月 9 日、藤沢市の藤澤浮世絵館で【松竹大谷図書館所蔵「3D 浮世絵 歌舞伎組上燈籠の世界】と題した展示が催されます。

この展示は、当館所蔵の組上燈籠絵を展示するだけでなく、組上完成形の立体展示も楽しんでいただこうという企画になっています。

藤澤浮世絵館は、藤沢宿、江の島を題材とした浮世絵や、関連資料を収集し展示している美術館です。今後、詳細な情報が入りましたら、ご報告いたします。



■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2018（平成30）年4月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

有限会社合同通信社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

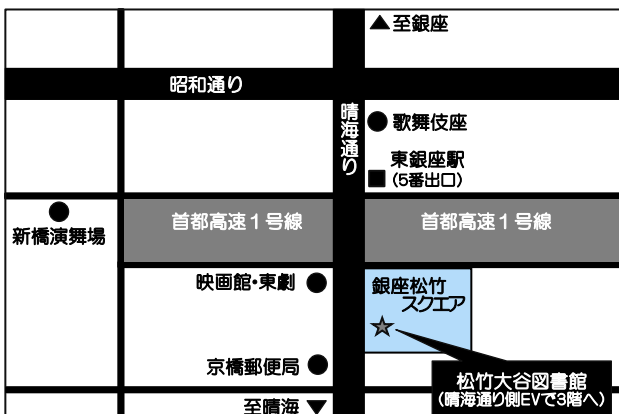
松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人（敬称略）

安孫子正

どうもありがとうございます



● 利用案内 ●

● 開館時間 ●
平日午前10時～午後5時
休館日
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

● 入館料 ●
無料

● 交通案内 ●
東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

編集・発行 公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / Tel 03-5550-1694

公式 HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式 Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>